

ケミフィット™ C1Sシリーズ 取扱説明書

1 準備

チューブカッターとサイズに合った取付工具、シールテープをご用意ください。



(参考)

① チューブカッターにはチューブサイズに合わせて、TC01、TC04をご使用ください。適用チューブサイズは【表1】を参照ください。

⚠ 注意 チューブカッターを使用しない時は、刃先を広げたままにしないでください。

⚠ 注意 継手とチューブは、配管状況の仕様を満足することをご確認ください。製品の選定を誤ると非常に危険な場合があります。

【表1】チューブカッター適用チューブサイズ

チューブカッター 品番	適用チューブ 外径サイズ (mm)
TC01	~13 (1/2inch)
TC04	~16 (5/8inch)

2 シールテープの巻付け

シールテープは、ねじ部を1~2山空け、巻き方向に注意して2~2.5回転させて巻き付けてください。



⚠ 注意 継手本体を再取り付けする場合は、ねじ部に残ったシールテープを取り除き、再度新しいシールテープを巻き付けてください。古いシールテープが残っていると、機器内に混入し、不具合の原因となることがあります。

3 継手の取付け

継手は、サイズに合った取付工具を用いて【表2】の推奨締付トルク範囲内で締め付けてください。



⚠ 注意 ねじ部が焼き付く可能性がありますので、ゆっくり締め付けるようにしてください。

⚠ 注意 Mねじは、締め込みすぎるとねじ部の折れやガスケットの変形により、漏れの原因となります。必ず推奨締付トルクで締め付けてください。

【表2】ケミフィットC1Sシリーズ推奨締付トルク

ねじサイズ (JIS B 0205 : 2001) (JIS B 0203 : 1999)	推奨締付トルク (N・m)
M5	1.2
R1/8	3.0~5.0
R1/4	7.0~9.0
R3/8	18.0~20.0
R1/2	20.0~22.0

4 チューブの切断

チューブカッターで、直角に切断してください。チューブの切断前にチューブ表面の汚れを拭き取り、へこみや傷、つぶれがないものを選定してください。



⚠ 注意 チューブ切断部分に汚れ、へこみや傷、つぶれ、バリ、毛羽立ちなどが無いようにカットしてください。また、チューブを斜めに切断しないでください。チューブ挿入時に継手のシール部分を傷つけ、漏れの原因となります。

5 チューブの接続・完了

チューブを継手の奥に当たるまで、真っ直ぐ確実に挿入してください。挿入後、チューブを軽く引っ張り、チューブが抜けないことを確認してください。



(参考)

① ケミフィットC1Sシリーズのミリ・インチの区別は、リリーススリーブの刻印(チューブサイズ)で識別しています。チューブ挿入長さは【表3】に記載しています。参考にしてください。

⚠ 注意 奥まで確実に挿入されていない場合は、チューブ抜けや漏れなどの原因となります。

⚠ 注意 当社以外のチューブを接続する場合は、チューブの外径公差が±0.1mm以内のものをご使用ください。寸法公差を満足していない場合、漏れなどの原因となります。

【表3】ケミフィットC1Sシリーズチューブ挿入長さ

シリーズ名	適用チューブ外径サイズ (mm)	チューブ挿入長さ (mm)
ケミフィットC1Sシリーズ	3	11
	4	14
	6	15
	8	16
	10	19
	12	20
	3.18 (1/8inch)	11
	6.35 (1/4inch)	16
	9.53 (3/8inch)	20
	12.70 (1/2inch)	23

6 チューブの取外し

チューブを継手本体の奥まで再度押し込み、リリーススリーブを両指で均等に押し付けたまま、ねじらずに真っ直ぐに引き抜いてください。



⚠ 注意 チューブを継手本体の奥へ押し込まず、リリースの押し込みが不十分な状態でチューブを引っ張ったりねじったりすると、チューブが抜けなくなることがあります。

⚠ 注意 チューブの取り外しを行う場合は必ずチューブ内の圧力をゼロにしてください。

7 チューブの再取付け

「4.チューブの切断」からもう一度繰り返してください。一旦取り外したチューブを再度取り付ける場合は、先端部分の爪が食い込んだ箇所を切り落としてください。また、チューブ表面に汚れ、へこみや傷、つぶれなどが無いことを確認してください。

⚠ 注意 内圧や熱などにより、チューブ内外径に変化がある場合はチューブも新品と交換してください。